

東京表具経師内装文化協会・東京表具内装職業訓練校

2025年度合同研修旅行

東京表具経師内装文化・内田海宇氏にお集まり協会と東京表具内装職業訓練校、それぞれが連携し、9月15日（月）から2泊3日の日程で徳島・高知を巡って実施された。

初日は徳島の藍の館で阿波藍の歴史を学び、続いて「阿波和紙伝産業会館」で紙漉きの作業場を見学。紙漉き体験では、色や模様を施し、オリジナルの和紙を制作した。

2日目は「本藍染矢野工場」で藍染を用いた染色体験を行い、深みある藍色の魅力を体感。その後高知へ移動し、漉き手の田村亮三氏・田村寛氏

2025年9月15日から17日にかけて、徳島県と高知県を訪問し、藍染と和紙といった伝統工芸の現場を見学する研修旅行に参加した。

今回の研修では、藍の館、旧奥村邸宅、アワガミファクトリー、本藍染矢野工場、土佐和紙工芸村、高知県紙産業技術センター、鹿敷製紙を巡り、各地の歴史や技術、現代における伝統産業の位置づけについて学ぶことができた。

初日は徳島県に滞在し、藍の館を訪問した。ここでは江戸時代から続く藍商の繁栄を伝える建物と資料が保存されており、藍が単なる染料にとどまらず、地域経済や文化に大きな影響を



研修旅行レポート 訓練校一年生 佐久間由佳氏

不器用な職人の生き方



「ものづくり」

72

十月二十五、六日に毎年恒例の山口JOBフェスタが開催される。山口県表具組合では少しく多くの方々に我々の業種を知ってもらうためにブースを設け来場したお客様に表具に関連したものを体験してもらった。この機会に、住宅フェア、世界スカウトジャンボリーなど様々なイベントで出展している。出展当初は日本人形や来年の干支を題材にして貼り

とブックカバーとしおりを作ることにした。体験授業は二時間ぐらいいのブツカババーは事前に裏打した表装の布地を準備して生徒たちには教科書に合うように型に合わせて切ってもらい両面テープで貼り合わせて作ってもらった。しおりは台紙には本島の子や金紙などを貼り合わせたものを飾りにはドライリーフ（紅葉や笹の葉に薄い紙を置き乾燥させたもの）に砂子を振ったりペイントで色付けしたものを生徒たち

お詫び 今月号は編集上の理由にて上欄記事位置が変更になっております。次号からは通常（4面）に掲載します。

ヤヨイ化学販売株式会社 好評！ヤヨイ化学の原液タイプの壁紙用施工接着剤『RINO(リノ)』



ヤヨイ化学より7月に発売された原液タイプの壁紙用接着剤『RINO(リノ)』が好評だ。『施工性・仕上り・使い勝手』を追求したという新商品の『RINO(リノ)』は、溶かす手間が要らない原液状態で、ジョイントのおさまりが抜群によく、壁紙のあおりやエア抜き、糊の拭き取り作業などの施工性も良いと好評だ。

また、合成樹脂成分が高配合されているので、高接着力でジョイントの目すきを抑えて美しく仕上がるという。

新発売を記念して令和7年12月製造分までの、『RINO(リノ)』1ケース(6kg×3)にマイクロファイバータオルが1枚サービス添付されている。発売記念キャンペーンも評判が良い。

「RINO(リノ)」の詳細は、同社のホームページに掲載されている。

ヤヨイ化学のホームページ <https://www.yayoi-kagaku.co.jp>

アトピーや健康、環境から内装を考える

総合室内装飾株式会社 鈴直

〒239-0807 横浜青木根岸町5-21-40 TEL.046-852-3355(代) FAX.853-1100

紙壁紙のイメージを越えた施工性の良さが魅力

SILKROAD 株式会社 菊池襖紙工場

〒340-0031 埼玉県草加市新里町135番地 TEL: 048-925-1245 FAX: 048-925-8822

紙や糸が持つ自然の風合いを大切に、一枚一枚丁寧に仕上げる。明るく上質な高級感・・・豊かなくつろぎをお届けします。

国際産業の襖紙見本帳 日新 第12集 吉兆 第15集 ながしま 第20集

国際産業株式会社 〒544-0004 大阪府大阪市生野区巽北2-7-9 TEL.06-6752-1526 FAX.06-6752-7388

印象に残った。今回の研修旅行を通して、藍染や和紙といった日本の伝統工芸が、単に古い文化財ではなく、今もなお生活や産業、そして世界とながら可能性を持っていることを強く感じた。実際の現場を訪れ、職人の姿勢や地域の取り組みに触れることで、伝統を未来につなぐ努力の大切さを実感した。今後は自らの学びや活動の中で、今回得た知見を活かしていきたい。

2025年度東京表具内装文化協会・東京表具内装職業訓練校合同研修旅行に参加者の集合写真

ふすま・掛軸・額・屏風・家紋入り盆燈籠

神南表具店 御許町50 ☎ 22-1266 FAX 22-2275

「現代版屏風の提案」

異業種連携で広がる現代版屏風の新たな可能性



深瀬 誠子氏

「表具」という言葉を、どれほどの日本人が正確に理解しているでしょうか。辞書によると、表具は「掛け軸、巻物、屏風、額装などの総称」とされ、主に作品そのものを指します。一方で「表装」は、それらを仕立てるための技術や作業を意味します。専門的な違



いはありますが、一般の方には十分に浸透していないと感じます。本来、表具は書や絵画の美しさを引き立て、空間に調和や季節感、潤いをもたらす重要な技術です。しかし、現代の生活様式の変化により、その存在は次第に影を薄めつつあります。伝統文化としての役割が、改めて問われる時代になりました。

先日、テレビ番組「みやこびと極上の遊び」で、京都の料亭「浜作」さんの「もてなしの美学」を拝見しました。料理人が反物を選んで装いを整え、陶芸家に器を依頼し、さらに表具師が絵に合わせた裂地を選定する。その一連の所作に、お客様を思う繊細な心遣い、大切に感じました。表具の本質、空間と心をつなぐ存在にも通じると感じました。

また、ある大手保険会社の社内報で「マーケティング」の代表として、どれだけ社会やメディアに取り込まれているかが重要」という言葉を目にしました。私たちも、表具の魅力を業界内に広めることが、積極的に社会へ発信していく姿勢が必要だと痛感しています。その思いから、今年も東京都中央区のビジネスフェアにて「現代版屏風」を出展いたしました。

「表具」とは何か? を改めて知っていただくべく、伝統を守りながら現代の暮らしに寄り添う提案を行うことを、今この時代に、おける新しい文化発信だと考えています。同社内にあった「メディアに取り上げてもらえる話題づくりが必要」という言葉は、私たちにとても大切な指針です。

技術の継承に加え、自ら発信する努力を重ねること。それが、表具を次世代へとつなぐ架け橋になると信じています。これからも、表具の本質と魅力を多くの方々に伝え、伝統に新たな息吹を吹き込みながら、現代社会に問いかける仕事を続けてまいります。

故木村浩芳氏は、温厚で指導力を発揮され、ルノン株式会社を退職後は、日本壁装協会専務理事として数々の事業活動を推進され、業界発展に尽力されました。

ここに生前のご厚意を深く感謝するとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

「景」ある暮らし
自然と暮らす四季折々の生活環境に合う、新しいスタイルの提案。
信頼の施工性と、ゼンスの良い総柄や無地バリエーション豊富に、
この雑誌集としてご提案いたします。

おける新しい文化発信だと考えています。同社内にあった「メディアに取り上げてもらえる話題づくりが必要」という言葉は、私たちにとても大切な指針です。

技術の継承に加え、自ら発信する努力を重ねること。それが、表具を次世代へとつなぐ架け橋になると信じています。これからも、表具の本質と魅力を多くの方々に伝え、伝統に新たな息吹を吹き込みながら、現代社会に問いかける仕事を続けてまいります。

「景」ある暮らし
自然と暮らす四季折々の生活環境に合う、新しいスタイルの提案。
信頼の施工性と、ゼンスの良い総柄や無地バリエーション豊富に、
この雑誌集としてご提案いたします。

ルノン株式会社代表取締役社長
元日本壁装協会専務理事
木村浩芳氏逝去

ルノン株式会社代表取締役社長木村浩芳氏が去る10月9日81歳にて永眠いたしました。

なお、通夜、葬儀は、式場・應慶寺目黒御廟にて執り行われました。

故人と親しい友人や業界関係者が数多く弔問に参列しました。

ルノン株式会社代表取締役社長
元日本壁装協会専務理事
木村浩芳氏逝去

ルノン株式会社代表取締役社長木村浩芳氏が去る10月9日81歳にて永眠いたしました。

なお、通夜、葬儀は、式場・應慶寺目黒御廟にて執り行われました。

故人と親しい友人や業界関係者が数多く弔問に参列しました。

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

壁紙探訪

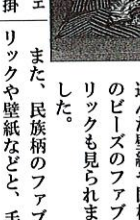
Color Design Firm 代表 網村真弓

日本色彩学正会員 インテリアデザイナー カラーコンサルタント



網村 真弓

今回はフランスの大御所、ピエール・エール・フレイのバリエーションの特別な展示についてお伝えします。



また、民族柄のファブリックや壁紙など、手法やテイストが変化を見せながらも、ゆるぎないピエール・エール・フレイの世界感

が繰り広げられました。エスニックとタンディズムが織り交ぜられた世界、そこは紛れもない情熱とはしるピエール・フレイの新作で埋め尽くされ、来場者を別世界へと誘いました。

壁紙はただの素材としてではなく、それが施工されることにより、喜びや安らぎ、時に高揚をもたらす素敵な魔法の一部となっていました。

「筆者プロフィール」
日本色彩学正会員
国際インテリアデザイナー
協会ポッドキャスト
日本インテリアコーディネーター協会
インテリアデザイナー/カラーコンサルタント/福祉住環境コーディネーター
壁紙・スチール講師
メタカルスタイルリスト
●トレンド分析に定評があり、インテリアに於ける色彩心理研究や環境色彩計画を行う、日本初の小規模多機能高齢者施設を始め、福祉・公共施設の色彩計画やインテリアデザイン、街づくりの色彩などを手がける。英国やスイスでのデザイン経験を活かし、トレンド分析や展示会サポート、コンサルティグなどを行う。セミナーや執筆、講演多数。壁紙・スチールアーティスト認定講座講師

「景」ある暮らし
自然と暮らす四季折々の生活環境に合う、新しいスタイルの提案。
信頼の施工性と、ゼンスの良い総柄や無地バリエーション豊富に、
この雑誌集としてご提案いたします。

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

今回はフランスの大御所、ピエール・エール・フレイのバリエーションの特別な展示についてお伝えします。



また、民族柄のファブリックや壁紙など、手法やテイストが変化を見せながらも、ゆるぎないピエール・エール・フレイの世界感

が繰り広げられました。エスニックとタンディズムが織り交ぜられた世界、そこは紛れもない情熱とはしるピエール・フレイの新作で埋め尽くされ、来場者を別世界へと誘いました。

壁紙はただの素材としてではなく、それが施工されることにより、喜びや安らぎ、時に高揚をもたらす素敵な魔法の一部となっていました。

「筆者プロフィール」
日本色彩学正会員
国際インテリアデザイナー
協会ポッドキャスト
日本インテリアコーディネーター協会
インテリアデザイナー/カラーコンサルタント/福祉住環境コーディネーター
壁紙・スチール講師
メタカルスタイルリスト
●トレンド分析に定評があり、インテリアに於ける色彩心理研究や環境色彩計画を行う、日本初の小規模多機能高齢者施設を始め、福祉・公共施設の色彩計画やインテリアデザイン、街づくりの色彩などを手がける。英国やスイスでのデザイン経験を活かし、トレンド分析や展示会サポート、コンサルティグなどを行う。セミナーや執筆、講演多数。壁紙・スチールアーティスト認定講座講師

「景」ある暮らし
自然と暮らす四季折々の生活環境に合う、新しいスタイルの提案。
信頼の施工性と、ゼンスの良い総柄や無地バリエーション豊富に、
この雑誌集としてご提案いたします。

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

一本の糸から最終製品まで。京都府木津市山城町上北野田芝1-3
小嶋織物株式会社
Kojima Orimono Co., Ltd.
http://www.kojima-orimono.com

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

ルノン株式会社
本社 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F
https://ssl.runon.co.jp

SUMINOE GROUP

[52] デジタルプリントによるインテリアの現状と今後

～ 追悼 本田榮二先生 9 ～

アイエスジー文化研究所 小島 一仁氏

いつもお読みいただきありがとうございます。

10月をすぎて急速に涼しくなってきました。皆様、朝晩冷え込みますのでお身体ご自愛いただき、お仕事に従事頂きますようよろしくお願い致します。

さて、前回も2024年11月4日にご逝去された、故「本田榮二」先生が企画開催された欧州ツアーに関連して、フリース壁紙に特化してお話をさせていただきます。

今回は本田榮二先生の企画ツアーに関連してお話をさせていただきます。

本田榮二先生とは欧州のいろいろな地域に同行させていただきました。その行程はどれも大いに印象深く、感動の連続でしたが、今日はその中でも非常に感慨深く、インテリア業界にも深く関わりの有る思い出をお話します。

日本のインテリア業界でも、最もネームバリューの有るデザイン・ブランドのひとつと言えば、御存じの「ウィリアム・モリス」があげられます。

下記の写真①は、2018年11/20-22に開催された第37回ジャパンテックスの特設ブースにおいて、本田榮二先生が監修して、インテリアコーディネーターの三宅利佳さんが企画・デザイン・設営・セミナーを担当した「モリスとミューシャの邂逅」ブースのひとつです。真ん中で説明しているのが三宅利佳さんです。この時には、ウィリアム・モリスと並んでアルデコの巨匠、日本でも馴染みの深いアルフォンス・マリア・ミュシャとの、2人のデザイン歴史上の大巨頭をテーマにした特別展示でした。

ウィリアム・モリスについては、御存じの読者も多いと思いますが、WikipediaのページをQRコードで下記に掲載します。ぜひ、ご覧ください。

写真①

本田榮二氏は、日本での、アルフォンス・マリア・ミュシャやウィリアム・モリスの一般的な知名度もさることながら、インテリア業界において非常に人気があり、インテリアコーディネーターをはじめ各ブランドメーカーがいろいろなアイテム製品で手掛けている事にも日々着目されていて、日本においてはもっと注目を集めて然るべきという観点から、各メーカーに協力を依頼してこのブースを監修しました。

そして、展示については、インテリアコーディネーターの三宅利佳さんが、中心となりブースのデザイン・設営を全て手がけました。結果として、高円宮久子妃殿下にもご来臨賜り、ご来場の方々にも好評を博します。

ウィリアム・モリス(William Morris, 1834-1896)は、19世紀のイギリスで活躍した芸術家、デザイナー、詩人、社会主義者、**「モダンデザインの父」**と呼ばれ、アーツ・アンド・クラフツ運動の中心的人物として、工芸と社会の変革を目指し、業績は多岐にわたります。

インテリア壁装材やテキスタイルについては、自然をモチーフにしたデザインが特徴で、特に、鳥や植物、花などを美しく描いた「いちご泥棒」や「ケルムスコット・ツリー」は、今でも世界中で人気です(2018年のジャパンテックスでも、三宅利佳さんはこの「いちご泥棒」をテーマにしています)。また、家具やステンドグラス等、生活空間全体を芸術的に彩るための様々な作品を手がけました。モリスのデザイン思想は、産業革命による粗悪な大量生産品を批判、「生活と芸術を一致させる」ことを目指して、手仕事による質の高いものづくりを復興させようとしたと伝えられています。また、詩人としても、社会主義運動家としても様々な作品を残しています。

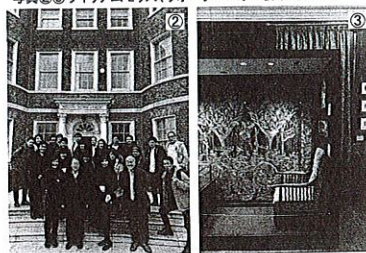
モリスの幅広い見識と活動が、壁紙、ファブリック、インテリア雑貨のデザイン等も含めて現代でも多くの製品に採用され、世を超えて愛され続けている所以说えます。事実、2022年には、それまでの取り扱い会社に加えて、隣サンゲツが英国のライセンスの協力を得て「ウィリアムモリスコレクション」を発表、壁紙、カーテン、フローア関連製品等、トータルコレクションとして人気を博しています。

本田榮二氏が主催した、2020年1月の欧州インテリアトレンドツアーでは、ウィリアム・モリスが18歳の時に住んだロンドン市内のウィリアム・モリスミュージアム(ウオーターハウス)と26歳の時に自宅としたロンドン郊外のレッドハウスを視察します。

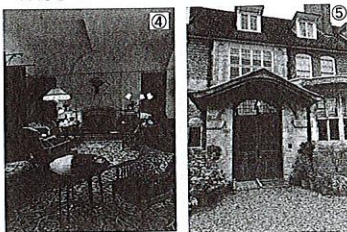
写真②③ウィリアムモリスミュージアム(ウオーターハウス)視察時の写真

写真④⑤レッドハウス視察時の写真
いずれも、ウィリアム・モリスのインテリアが随所に使用されており、その後の日本のインテリア業界への多大な影響と、今も衰える事の無いデザイン性の訴求性・人気を考慮すると、このようなゆかりある場所へのツアーを企画されて実施されたのもまた、先見性を持ち合わせていた本田榮二氏だからこそであり、インテリア業界の発展を願う心と行動力の賜物と言えるでしょう。

写真②③ウィリアムモリス(ウオーターハウス)視察時の写真



写真④⑤レッドハウス視察時の写真



本田榮二氏は何故日本においてウィリアム・モリスは人気があるのか？

というテーマで次のように見解を述べています。

(以下、本田榮二氏の文章を引用)

なぜモリスは日本で人気があるのか？

本田榮二

私は『インテリアの歴史』を上梓した際、

この問題に若干触れています。

私の見解は次のとおりです。

①英国と日本は、地政学的地理的に共通点が多い。

ユーラシア大陸西端の大西洋に浮かぶ島が英国です。対照的にユーラシア大陸東端の太平洋に浮かぶ島が日本です。気候風土は若干異なりますが、庭園などを自然のままを演出する点では似ています。英国式庭園と日本5大名園(金沢の兼六園、高松の栗林公園、岡山の後楽園、水戸の偕楽園、熊本の水前寺公園)に象徴される日本庭園です。フランスのヴェルサイユ宮殿など、人為的なバロック庭園とは好対照です。

また、今回のテーマとは関係ありませんが、政治的に親米路線を基調にしている点も共通しています。脱線しますが、日本の外交は英国が参考になるはず……と、私の師でもある湯浅越男先生は主張しています。

②王室と皇室が昔から連続と続いている。

フランスや中国のように革命の経験がないため、王室と皇室が長い間にわたって連続と続いています。国民が敬愛している点も共通です。ダイアナ妃がチャールズ皇太子と一緒に来日した際のフィーバーぶりが示すように、日本人は英国人に親近感を感じています。音楽面でもビートルズなど、英国ミュージシャンの影響は大きいですが、モリスが英国人であったことも、日本に与えた影響の点ではラッキーだったと思います。

③明治維新後、日本人が吸収した異文化は英国。

維新の前後、グラバーに代表される英国商人は大量来日しました。明治維新後、政府が富国強兵・殖産振興の面で参考にしたのは英国です。日本の若者に建築を教えるため来日したお雇い外国人のジョサイア・コンドルも英国人。首席で卒業した辰野金吾の留学先も英国でした。インテリアを含む建築分野での英国の影響は絶対です。このような環境下でモリスは日本に紹介されたのです。(以上本文のまま引用)

この、ウィリアム・モリスに日本人が惹かれるポイントを的確に史実と世界関係歴史・国民性との関連性も踏まえて、簡潔に指摘されていることも、本田榮二氏自身のウィリアム・モリスへの深い思い入れと、現代の日本のインテリア産業への強い愛情の賜物と言えるかもしれません。

あらためて、故「本田榮二」先生に深く感謝申し上げる次第です。

写真は、2020年1月のツアーメンバーに囲まれてパッキンガム宮殿前の本田榮二氏とツアー参加者



水性万能型下地調整剤

パラダイン

MSコート

新発売!!



- 各種下地に対する接着力、壁紙施工用でん粉系接着剤との接着性が優れています。
- 液ダレが少なく塗りやすいため作業性が優れています。

<用途>

- 様々な下地を対象とする壁紙施工用下地調整剤
- 吸水性下地(石膏ボード、コンクリート/モルタル、ケイカル板)＝希釈使用(5倍希釈)
- 塗装下地(ペンキ下地)＝原液使用

容量 2kg入り
施工可能面積 約60～100㎡(希釈)、約20㎡(原液)

WALL BOND

ウォールボンド工業 公式 Instagram



<http://www.wallbond.jp>

ウォールボンド工業 検索

インクジェットメディア
ラミネートフィルムの総合カタログ

グラフィカルvol.10

ご好評につき増刷!

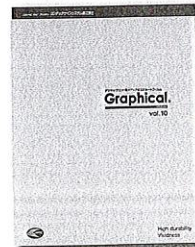
グラフィカルWEBサイトも
リニューアル!!

グラフィカルWEBサイトはこちらから

グラフィカル

検索

www.sign-japan.com/html/inkjet/index.html



リンテックサインシステム株式会社

お問い合わせは、本社営業部
TEL.(03)5721-4912 FAX.(03)5721-4920

www.sign-japan.com